

現地斗争ニュース

訪米阻止全日本学生共

闘争実行委員会事務局

詣米阻止の声高く反安保全日実行委12万労働者と連帯し、 学生三千の旗の下千名の学友大起！

1. 昨日代々木公園に労働者12万、全日本学生共1000名結集し、詣米阻止中央ヨリ争を耳い抜ぐ。

全国の學友諸君、佐藤は今朝、沖縄県民をはじめとする全国民の反対を押ししきて羽田を飛びたらアメノ力に向かう。我々は、11月詣米阻止から連続斗争としてヨリ抜いてきた、或いは、ヨリ続けてくる佐藤詣米阻止斗争の義と云ふ度確認せねばならない。

それは、生産力が資本主義オーバー位に成長した日本帝國主義で、その資源的力を背景にして政治的上部构造を全面的に、

帝國主義的に再編し、東南アジアに侵略せんとしている現在、佐藤が、沖縄核ね

モ本土並み、支那並み、からその裏、核乍還、本土の沖縄化、安保自動延長の最終的裏路線一詣米阻止主義と企らる。この事は明白である。それ故、佐藤訪米阻止斗争は、70年安保斗争の中心的斗争であり、佐藤内閣を打倒し、70年代反併合斗争の勝ち手切り拓く重要な斗争である。

10月24日11時、労働の最高最大の1時間半の統一スト、11月の終業宣言にての成功、詣米阻止斗争の全国的昇揚は、70年代反併合斗争の中心的斗争である佐藤に於けるゼネストと基盤とした組織、労働者階級のヨリが展開されつゝある事を示していけるやう。

2. 中央ヨリの意味は何であつたか？

詣米阻止全国学生共（全国学生共）

争実行委員会（即西二五の名を以て）

の全国から中央に結集し、昨日、本日と

1000名の学友を結集して中央ヨリ争を

斗争指で。昨日は代々木公園から東京

新宿へ向け、労働者と共に東京を出立

と展開した。中央ヨリ争の意義を一言で言うなら、生産吳に根ざした大衆的ヨリの構築の上で日本國主義に対し、政治的対決点を形成し、佐藤内閣を打倒し、政治的対決点を形成し、佐藤内閣に痛みをあびせる事にある。それ故、我々は、環地動員主義、実力阻止、を原則的に批判して、中央斗争の意義と、運動隊との物理的衝突、暴力行為による争いを、犯罪的殴打をしたラスには、ないが如き、犯罪的殴打をしたラスには、なればならない。被殴打せんとする事は、斗争全体によるラスには、なればならない。

被殴打された中央ヨリ争1000名の決起は、70年代、独立ヨリ争の戦略的展望に立つて我々の大針の正さを証明するものである。

3. 我々の任務は何？

佐藤は、反対をもじつて詣米したやうといつて

我々は、財政、したくてけ決してない。斗争を重

力で阻止するのではなく、に適少化する極「左」曰

和夏主義者の火薙じん、ケーラヨリ争を、断固拒否

せにはならない。我々は10月、詣米阻止斗争を斗

信頼し、本日の、詣米抗議斗争をクラス末端から

組織し大衆運動を更に拡げし發展させ、佐藤の在

も沖縄核行キ返還、安保自動延長の効動を壊碎し

佐藤内閣を打倒に追いつき、沖縄是地敵去、即時

返還安保政策へ前進してしまわなければならない。当園

に根づいた大衆ヨリ争の發展こそ、中央ヨリ争を重

に有効にしめる事を確認し、ヨリ争を名ワラスで

準備してリニテロドロマヘスロヨ。

ヘヌロヨーネル、ヘン

ロ沖縄核行キ自由使用返還、安保自動延長をた

くらむ佐藤抗議

ロ沖縄核行キ反戦斗争全勝利

ロ大蔵の帝国主義的貿易統計研

ロ軍事力強化、ヒロニ、帝國主義的再編をめぐ

ロ佐藤打倒。